



## 2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月25日

上場会社名 太洋工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6663 URL <https://www.taiyo-tx.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細江 美則

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 園部 直孝

TEL 073-431-6311

四半期報告書提出予定日 2023年11月1日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2022年12月21日～2023年9月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	2,504	4.2	138		113		134	
2022年12月期第3四半期	2,615	3.4	66		4		4	

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 109百万円 ( %) 2022年12月期第3四半期 25百万円 ( 72.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	22.65	
2022年12月期第3四半期	0.69	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	4,826	2,539	52.0
2022年12月期	4,794	2,667	55.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 2,509百万円 2022年12月期 2,638百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		3.00	3.00
2023年12月期		0.00			
2023年12月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2022年12月21日～2023年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,144	14.3	41		37	18.8	23	40.3	3.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	5,951,600 株	2022年12月期	5,951,600 株
期末自己株式数	2023年12月期3Q	6,226 株	2022年12月期	6,226 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	5,945,374 株	2022年12月期3Q	5,929,500 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、世界的な金融引締めによる海外景気の下振れや中国経済の減速に加えて、原材料やエネルギー価格及び物価の上昇が景気を下押しする懸念はあったものの、円安を背景としたインバウンド需要の回復や供給制約の緩和等により、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループが属する電子基板業界は、巣ごもり需要の反動によりスマートフォン及びパソコン等の民生品、並びに設備投資への慎重姿勢によりデータセンター向け及び産業機器向け製品の需要は低迷したものの、EVや先進運転支援システムを中心とした自動車向け製品の需要がけん引し、引き続き堅調に推移いたしました。収益面においては、原材料価格の高騰が利益を圧迫する等、取り巻く経営環境は厳しいものとなりました。

このような経済環境の下、鏡面研磨機事業において販売は増加したものの、電子基板事業、テストシステム事業及び産機システム事業において販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。

これらの結果、連結売上高は2,504百万円（前年同四半期比4.2%減）と、前年同四半期連結累計期間に比べ110百万円の減収となりました。

損益については、鏡面研磨機事業において売上高が増加したこと及び産機システム事業の売上総利益率が上昇したことに伴う影響はあったものの、電子基板事業及びテストシステム事業の売上高が減少したこと並びに人件費等の販売費及び一般管理費が増加したことに伴う影響により営業損失138百万円（前年同四半期は66百万円の営業損失）、経常損失113百万円（同4百万円の経常損失）、繰延税金資産の取崩しに伴う法人税等調整額を計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純損失134百万円（同4百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (電子基板事業)

産業用タッチパネル等の需要が引き続き堅調に推移したことによりディスプレイメーカー向けの販売は増加したものの、在庫調整が長引いている影響等によりその他セットメーカー向けの販売、及び高機能品FPC案件の減少により医療機器メーカー向けの販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少による影響や仕入販売製品の増加等により売上総利益率が低下したこと、及び人件費や海外拠点での売上増に伴う費用が増加したことにより減益となりました。

その結果、売上高1,874百万円（前年同四半期比4.7%減）、セグメント利益317百万円（同23.7%減）となりました。

## (テストシステム事業)

リジット板及びパッケージ基板向け検査機の販売は増加したものの、国内外の電子基板メーカー各社におけるスマートフォン向け等のFPCの生産活動が停滞し、外観検査機の販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響により損失が拡大いたしました。

その結果、売上高275百万円（前年同四半期比9.1%減）、セグメント損失114百万円（前年同四半期は102百万円のセグメント損失）となりました。

## (鏡面研磨機事業)

リチウムイオン電池用フィルム加工向け等の研磨機や研磨に使用する消耗品の販売が増加したこと及び機械の修理・メンテナンスの受注が堅調に推移したことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加に伴う影響により黒字転換いたしました。

その結果、売上高207百万円（前年同四半期比44.1%増）、セグメント利益22百万円（前年同四半期は6百万円のセグメント損失）となりました。

## (産機システム事業)

大型パッケージ基板の自動検査ライン及びローダー・アンローダー装置等のロボット案件は販売できたものの、検査システム事業における各種検査システムの販売及び仕入販売商品が低迷したことから、売上高は減少いたしました。損益については、前述のロボット案件が販売できたことにより損失が縮小いたしました。

その結果、売上高147百万円（前年同四半期比27.0%減）、セグメント損失28百万円（前年同四半期は50百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ35百万円増加し、2,767百万円となりました。これは主として、売上債権が減少した一方、現金及び預金並びに棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少し、2,059百万円となりました。これは主として、保険積立金の満期により投資その他の資産が減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ159百万円増加し、1,051百万円となりました。これは主として、仕入債務が減少した一方、短期借入金が増加したこと及び冬季の賞与引当金を計上したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ0百万円減少し、1,234百万円となりました。これは主として、長期借入金が増加した一方、長期未払金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ127百万円減少し、2,539百万円となりました。これは主として、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期の連結業績予想については、2023年7月27日に公表した「2023年12月期 第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,515,348	1,665,094
受取手形及び売掛金	669,420	519,277
有価証券	10,000	—
商品及び製品	88,946	59,271
仕掛品	239,071	359,059
原材料及び貯蔵品	118,434	131,355
その他	90,604	33,414
貸倒引当金	△444	△318
流動資産合計	2,731,381	2,767,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	312,056	298,222
機械装置及び運搬具（純額）	142,549	176,698
土地	906,987	912,019
その他（純額）	42,290	25,867
有形固定資産合計	1,403,883	1,412,807
無形固定資産		
その他	61,755	63,814
無形固定資産合計	61,755	63,814
投資その他の資産		
その他	601,528	586,560
貸倒引当金	△4,312	△4,102
投資その他の資産合計	597,216	582,457
固定資産合計	2,062,855	2,059,079
資産合計	4,794,236	4,826,234

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	129,555	97,028
短期借入金	353,245	571,416
未払法人税等	8,270	9,441
賞与引当金	—	48,249
製品保証引当金	320	314
その他	400,700	325,468
流動負債合計	892,091	1,051,918
固定負債		
長期借入金	459,559	479,739
長期未払金	99,451	65,086
役員退職慰労引当金	164,370	164,370
退職給付に係る負債	502,391	515,936
資産除去債務	9,246	9,247
固定負債合計	1,235,019	1,234,380
負債合計	2,127,110	2,286,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	815,198	815,198
資本剰余金	938,498	938,498
利益剰余金	801,351	648,872
自己株式	△116	△116
株主資本合計	2,554,931	2,402,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,023	62,382
為替換算調整勘定	40,424	45,152
その他の包括利益累計額合計	83,447	107,535
非支配株主持分	28,746	29,947
純資産合計	2,667,125	2,539,936
負債純資産合計	4,794,236	4,826,234

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月21日 至 2022年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年9月20日)
売上高	2,615,284	2,504,501
売上原価	1,875,350	1,825,200
売上総利益	739,933	679,301
販売費及び一般管理費	806,773	818,066
営業損失(△)	△66,839	△138,764
営業外収益		
受取利息	1,170	1,194
受取配当金	5,412	3,235
為替差益	17,592	—
助成金収入	30,113	8,062
作業くず売却益	12,527	19,220
その他	5,428	7,828
営業外収益合計	72,244	39,542
営業外費用		
支払利息	7,405	7,363
債権売却損	2,700	2,788
為替差損	—	1,245
その他	65	2,944
営業外費用合計	10,171	14,342
経常損失(△)	△4,766	△113,564
特別利益		
補助金収入	5,000	98,723
特別利益合計	5,000	98,723
特別損失		
固定資産除却損	0	100
固定資産圧縮損	5,000	98,723
投資有価証券評価損	—	75
特別損失合計	5,000	98,900
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,766	△113,740
法人税等	1,263	21,448
四半期純損失(△)	△6,029	△135,189
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,952	△547
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,077	△134,642



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月21日 至 2022年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年9月20日)
四半期純損失(△)	△6,029	△135,189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,900	19,359
為替換算調整勘定	14,742	6,477
その他の包括利益合計	31,643	25,836
四半期包括利益	25,613	△109,353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,132	△110,554
非支配株主に係る四半期包括利益	480	1,201

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2021年12月21日至2022年9月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,966,397	302,733	144,015	202,137	2,615,284	—	2,615,284
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	—	—	—	7,678	7,678	△7,678	—
計	1,966,397	302,733	144,015	209,815	2,622,962	△7,678	2,615,284
セグメント利益 又は損失(△)	416,653	△102,575	△6,268	△50,705	257,103	△323,943	△66,839

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△323,943千円には、セグメント間取引消去等14,150千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△338,093千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2022年12月21日至2023年9月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,874,206	275,190	207,471	147,633	2,504,501	—	2,504,501
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	—	—	—	974	974	△974	—
計	1,874,206	275,190	207,471	148,607	2,505,476	△974	2,504,501
セグメント利益 又は損失(△)	317,946	△114,604	22,707	△28,270	197,779	△336,544	△138,764

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△336,544千円には、セグメント間取引消去等12,719千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△349,263千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。